音楽が聞こえる

あなたの毎日にはどんな音楽がありますか？
お気に入りの音楽を探したくなるような本を紹介します。

『きみの声を聞かせて』

小手鞠るい／著
偕成社

「音」に関する創作系 SNS で偶然知り合った、それぞれ複雑な事情を抱える日本人葉香とアメリカ在住の海渡。二人はお互いの素性も知らぬまま作品を通して親しくなるが、海渡が東京で行われるコンサートに参加するために来日することを教えられ葉香は･･･。

『革命前夜』

須賀しのぶ／著
文藝春秋

東ドイツに音楽留学した眞山(まやま)は、同世代の才能を前にして、自分の音を見失って苦しむ。そんなある日、教会のオルガンで理想のバッハを奏でていた女性と再会するが･･･。
若き留学生たちの姿と、ベルリンの壁崩壊直前の東ドイツ社会を描いた物語。

『ROCK！ジャケ弁スタイル』

オバッチ＆Beat Sound 編集部／編
ステレオサウンド

CD ジャケットのカバーデザインを弁当で忠実に再現した「ジャケ弁」。音楽への愛情とリスペクトに溢れる「ジャケ弁5カ条」を掲げる製作者による、選りすぐりの作品が満載！ 作品の素晴らしさもさることながら、なるほど、ここにこの食材を使うか～(笑)！といった、製作過程の手法や材料の記載部分も笑って楽しめちゃう、音楽愛満載の一冊です。

『碧空(あおぞら)のカノン』

航空自衛隊航空中央音楽隊ノート〔1〕

福田和代／著
光文社

鳴瀬佳音（なるせかのん）は航空自衛隊航空中央音楽隊に所属している女の子。佳音のまわりでは不思議な事件が相次ぎ･･･。普段はあまり知ることのない自衛隊の音楽隊で巻き起こるちょっぴりミステリアスで、くすっと笑える恋模様にも注目の一冊です。

『14歳 Ⅲ』

佐々木美夏／著
エムオン・エンタテインメント

―自分の14歳が映画になるとしたら、主題歌は何を選ぶか？
総勢36名のミュージシャン達が、14歳の頃をインタビューで振り返る、シリーズ『14歳』（全3巻）。大人になった今だからこそ言える言葉も、当時の想いも、ぜひ今その年代のあなたに読んでいただきたい。あなたは自分の主題歌に何を選びますか？

『アレグロ・ラガッツァ』

あさのあつこ／著
朝日新聞出版

中学時代、友人と本気度の違いから吹奏楽部をやめてしまった美由。高校に入学して出会った、個性的な友達とつき合ううちに･･･。葛藤、苛立ち、迷い― 美由の心の動きを丁寧にえがく「音楽×あさのあつこ」の青春ストーリー。